

ポータル元ワーキングママがゆく 女性と子供に優しい避難所を目指して

66

横浜市議員 伏見ゆきえ

横浜市会は、令和7年度予算審議の真つ最中で、強化は喫緊の課題となつています。「自助・共助も新たに、横浜地震防災戦略に該当する事業である「災害対策備蓄事業」に9億7412万円（前年2億1307万円）が計上されました。

ユニットです。避難生活におけるプライバシーの確保や衛生環境の維持、温かい食事の提供など、女性や子ども、高齢者とといった災害弱者のニーズに応えられます。

「令和7年度総務局予算概要」のポイントによると、地域防災力の向上と「地域防災拠点の機能強化及び帰宅困難者対策」、「市民の安全・災害の激甚化を受け、横

ユニットの導入だけでなく、今後、既存の避難所のバリアフリー化や女性用スペースの確保、災害時の情報伝達手段の多様化など、総合的な防災・災害対策の強化が求められていると考えま

近年の異常気象による災害の激甚化を受け、横

す。今回の予算審議を通して、市民一人ひとりの安全・安心を守るために、さらに実効性のある防災・災害対策が推進されたいと思います。

災害弱者のニーズに応える

この事業の中で、TKBユニットの試験導入・運用の検討が行われます。TKBユニットとは、トイレ、キッチン、ベッドという3つの機能を一体化した災害対策用



伏見ゆきえ

2015年に横浜市議員初当選。現在3期目。

連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町447-1
プラージュ戸塚502号室 ☎045・443・5757 / FAX
045・443・5671 / Facebookで日々の活動更新中！